新教出版社・新刊案内　2022 年 10 月 14 日発売
〒 162-0814　東京都新宿区新小川町 9-1
Tel: 03-3260-6148 / Fax: 03-3260-6198 / Email: eigyo@shinkyo-pb.com

反ナチ抵抗運動とモルトケ伯

クライザウ・サークルの軌跡

雨宮栄一［著］

四六判・上製・364 頁・本体 3,500 円（税込定価 3,850 円）
ISBN 978-4-400-21337-6　C1016

敗戦後の新生ドイツを望み見て再建案を構想した人々

クライザウ・サークルとは、ナチに反対し、ドイツ敗戦を見越して戦後の再建構想を練った、ユンカーをはじめ、神父や牧師、学者、労働運動指導者など、様々な人が参加したグループである。彼らの大半はゲシュタポに逮捕され、死刑に処せられた。本書は、この知られざる抵抗運動の中心人物であった法律家ジェームズ・フォン・モルトケの人物像と思想、とりわけキリスト教との関係を明らかにした労作。著者の遺作となった。

著者紹介　雨宮栄一（あめみや・えいいち）

1927 年生まれ。1953 年日本基督教神学専門学校卒業。1962-63 年西ドイツに留学。日本基督教団山梨教会、阿佐谷東教会、東駒形教会牧師を経て、中部学院大学教授を務めた。2019 年逝去。著書：『バルメン宣言研究』、『ドイツ教会闘争の展開』、『日本キリスト教団教会論』、『ユダヤ人虐殺とドイツの教会』、『ドイツ教会闘争の挫折』、『二人の平和主義者の殉教』、『主を覚え、死を忘れるな』、『青春の賀川豊彦』、『貧しい人びとと賀川豊彦』、『暗い谷間の賀川豊彦』、『若き植村正久』、『戦う植村正久』『牧師植村正久』『評伝高倉徳太郎 上・下』『評伝井上良雄』『フリードリヒ・ユストゥス・ペーレルス』ほか。

【目次より】

序に代えて
第 1 章　ヘルムート・ジェームズ・フォン・モルトケの若き日
第 2 章　国防軍諜報部に入るまで
第 3 章　クライザウ・サークル誕生とジェームズの国家理解
第 4 章　抵抗運動とキリスト教信仰
第 5 章　第一回クライザウ協議会とその後の活動
第 6 章　第二回協議会とその他の抵抗運動との交渉
第 7 章　第三回協議会から逮捕まで
第 8 章　死に直面した信仰
第 9 章　その後のフライヤ
終わりに
　クライザウ・サークル参加者表
　文献表
　あとがき（戒能信生）